

12月議会 一般質問

町の将来像で論戦

教育問題

問 ①町農業の活性化と将来を担う子どもたちの社会教育の一環として、学校給食に地産の米や野菜を使っては。②小・中学校で行われている外国人を講師とした英語教育について。③中学校校舎耐力度検査の結果と建設問題について。

答 ①地元産米を使うには炊飯施設等を整備しなければならぬ。現在の給食センターは、手狭なうえ老朽化が進んでいるので、建て替える時点で必要な施設を整備し、対応したいと考えている。

野菜や果物、精肉、調味料などは町内業者から購入しているため、今後も特殊な食材を除いては地元で調達するよう努めていく。

②外国人による英語教育は、国際化社会を迎え、次代を担う子どもたちに生きた英語教育をすすめるため平成4年度からスタートした。



生きた英語の生きた授業は広い世界へいざなう力になるはず……

現在の講師は、22才のイギリス人男性で、中学校の英語授業に当たっているが、その合い間

を縫って各小学校のクラブ活動の指導に週1日の割で当たっている。

中学校ではかなりの効果を示しているため、今後は小学生にもより充実した教育の推進を図るため、講師の増員等を検討していきたい。

③調査は千葉県町村会建築事務所に委託し実施した。報告書に示された数値は4795点で、これは昭和36年の建設当初を1万点として算出されている。5000点を下廻ると建て替える対象になるということであるので、県教育庁と文部省の指導を受けながら今後の対応を検討したい。

町営レストラ

問 ふれあい坂田池公園は、野球場とテニスコートがオープンしたことで利用者が増えている。園内に軽食がとれる町営レストラを整備してはどうか。

答 施設の利便性の向上にもつながるので必要性は感じている。しかし、設備投資の問題や人件費、収益性、サービス面などから公営での運営は難しいと思う。

また、公園周辺の飲食業者への配慮も必要であるので、商工会等と十分協議し検討したい。

溜池整備事業の進捗状況

問 小堤地域の溜池整備事業の進捗状況と今後の計画について。

答 農業用水池である小堤地先の溜池は、上池、中池、下池合わせて面積約1.7ヘクタールで、平成2年度から護岸工事や親水広場、浮島などの整備を土地改良事業として県が進めている。

予算の関係で工事に遅れがあったようだが、平成8年度中には全て完成する予定とうかがっている。

防犯灯の整備

問 横芝小学校体育館裏側駐車場にゴミが捨てられ、教育上好ましくない。体育館はバレーボールなどで夜間の利用者も多いので街灯を設置できないか。

答 学校、公園等の公共施設の街灯については、必要性があれば